

令和元年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	鈴木鎮一記念館	所管課 TEL	文化振興課 内線3153						
所在地	松本市旭2丁目11番87号	設置年月	平成8年4月						
施設設置目的	才能教育運動の創始者で、松本市名誉市民である故鈴木鎮一氏の住居の保存を図るとともに、関連資料を展示公開して、広く文化の向上に資することを目的とする。								
施設概要・設備	施設概要: 木造瓦葺平屋建 敷地面積790㎡ 延床面積252㎡ 展示内容: ピアノ、勲章、表彰状、賞状、写真、書籍、指導用教材など								
指定管理者名(選定方式)	(公社)才能教育研究会(非公募・特命)								
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5か年)								
指定管理者の 主な業務	開館、維持管理、清掃、案内業務								
利用料金制の導入	なし 委託料方式								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年比(%)				
	入館者数	5,850	3,912	66.9%	92.2%				
	(特記事項) R2.3.4～R2.3.24、R2.3.26～R2.3.31 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館								
事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				
	収入 (歳入)	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料 負担金 (才能教育研究会)	3,100,000 1,800,000	指定管理料 負担金 (才能教育研究会) その他収入	3,100,000 1,739,519 15				
	計	4,900,000	計	4,839,534	計	0	計	0	
	支出 (歳出)	人件費	3,900,000	人件費	3,844,190	指定管理料	3,100,000	指定管理料	3,060,000
		物件費	990,000	物件費	987,344	保守点検	22,680	工事費	8,046,000
		事業費	10,000	事業費	8,000	事務費等	246,400	監理費	410,400
						【内訳】		資料運搬費	485,200
						・非常照明器具修繕	・トイレ照明器具修繕	設計費	864,000
計	4,900,000	計	4,839,534	計	3,369,080	計	12,865,600		
損益	0	0	0	差引	-3,369,080	差引	-12,865,600		
(特記事項)									

2 市(所管課)による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
 評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準	
A	(1.0) 高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7) 事業計画書(提案書)どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5) 事業計画書(提案書)どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分の確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0) 不適切な部分の確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
67.2

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠	
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	来館者には公平に対応するよう心がけており、平等利用が保たれており、アンケート調査でも苦情等は見られない。	
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	指定管理者の労働条件に則した勤務形態が維持されている。	
	危機管理対策	3 災害時や緊急等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	緊急時の対応について周知されており、適切な対応ができる体制となっている。	
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	危機管理について、徹底した対策がとられている。	
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	法人が定める方針に基づいた対策が講じられている。	
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	情報について適切な管理を行っており、問題は見られない。	
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	経営については適切に管理されており、安全性が確保されている。	
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	A	才能教育研究会と緻密に連携をとっており、十分なサポート・バックアップ体制が築かれている。	
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	管理運営方針に適合した事業計画どおり実施されている。	
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	報告書類等が適切に提出されており、責任を持って事業に取り組んでいる。	
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	適切な体制が整えられており、支障は見られない。	
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	館長が施設の管理運営の経験者であり、指揮系統や責任権限は明確に示されている。	
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	指針に則した働き方について、適切に取り組んでいる。	
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	利用案内等の説明資料が用意されており、適切に業務指導が行われている。	
		経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	会計帳簿が専用に作成されており、問題はない。
			16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	委託先や委託範囲について、適切に実施されている。
	17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか		3	B	実績報告書及び事業計画が適切に作成されており、期限内に報告している。	
安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	緊急時の対応について周知されており、教育や訓練が適切に実施されている。		
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	A	日常の巡回や清掃等が適切に行われている。区域や範囲についての的確に把握し、適切に保たれている。	
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	利用者増加のために、見学団体を招致するなど創意工夫がされているも、目標に達していない。	
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	適切に事業が実行されている。	
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	各団体と連携した施設見学研修を実施するなど、積極的な取り組みを実施している。	
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	映像や書籍コーナーを充実させるなど、利用者サービスを目的とした取り組みが実施されているも、利用率の向上につながっていない。	
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	A	才能教育研究会訪問者や行事参加者等に対し新規作成したパンフレットを配布するなど、利用促進に努めている。	
	障害者等への配慮	25 障害者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	職員が障害者、子ども、高齢者等の利用に配慮した対応をそれぞれ行っている。	
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	A	利用者の要望を把握するためのアンケートを来館者に対して行っており、業務改善に取り組んでいる。	
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	実績報告書、事業報告書、アンケート調査について報告書が提出されており、問題はない。	
環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	B	節電等やごみの分別について職員間で周知し、環境への配慮に気を配っている。		
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費削減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	来館者不在時は照明や冷暖房を切り、経費削減に取り組んでいる。	
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか(又は、利用者を確保できたか)	4	B	自主事業を除く管理について、範囲内で収められている。	

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	通年
	調査対象	来館者
	調査方法	アンケート
調査結果	【別紙】3利用者による評価 参照	
利用者からの意見 要望・苦情等	【別紙】3利用者による評価 参照	

4 指定管理者による自己評価

令和元年度の 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな参加型イベント「歌声サロン」(主に童謡唱歌等を歌う会)の実施により、毎回足を運んでくれるお客様が増えコミュニケーションも取れてきた。7月～2月まで8回開催。再開の際に、楽しい企画を思案中。 ・お客様方になるべく鈴木先生の映像等のDVDを見てもらい、また楽都松本のご案内もしながら楽しんでいただけるよう努めている。滞在時間も増えてきている。
要望・苦情への 対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場スペースはその都度ご案内し利用してもらっている。門柱にカーブミラー設置。安全面に対応済み。
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 【来館者増加にむけて】イベントの実施(安全確認が取れ開催できるようになったら) 記念館コンサート、子どもたちによるコンサート、若手演奏家によるコンサート(企画中)、「歌声サロン」の実施 楽器体験(希望があれば随時対応できるよう準備、分数楽器もあると良い) 【フオスポットをつくる】 室内 テーマ毎の展示(資料と写真パネル等) 例)グランドコンサート、小澤征爾と鈴木鎮一 室外 記念碑前(大事なフオスポットなので、玉砂利磨きとヒマラヤ杉枝葉の掃除念入りに) 【その他】前年度からの継続 展示品の説明書き統一(日本語と英語)、展示品整理(寄付リストに沿った現品チェック)

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】</p> <p>独自のコンサートを実施し、多くの市民が質の高いコンサートに参加できるような自主事業を展開している点が高く評価できる。参加者が多く、1つの部屋に入りづらい場合は別室にあるモニターを使用して対応している。また、新たな参加型イベントの実施など、自主事業に積極的に取り組んでいる。引き続き、施設の独自性を活かして自主事業や丁寧な対応に努めていただきたい。</p> <p>【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】</p> <p>—</p> <p>【総合的な評価】</p> <p>職員は鈴木鎮一氏に精通しているため、来館者に詳細な説明を丁寧に行うことができる。丁寧な対応により来館者の滞在時間も延びている傾向がみられ、満足度向上につながっている。鈴木鎮一氏に関する資料コーナーが設置されており、来館者へのサービス向上に努めている。</p>

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
74.2

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
適正

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	通年						
	調査対象	来館者						
	調査方法	アンケート						
調査結果	【性別】	男性52%	女性48%					
	【年代】	10代14%	20代0%	30代0%	40代34%	50代14%	60代21%	70代10%
		その他7%						
	【職業】	教育関係者17%	音楽関係者3%	その他(無職、主婦、学生等)80%				
	【来館回数】	1回目79%	2回目17%	3回目0%	それ以上4%			
	【来館手段】	バス21%	タクシー17%	徒歩14%	自転車10%	その他(自動車)38%		
	【職員対応】	良い90%	普通0%	記入無し10%				
	【展示内容】	良い83%	普通0%	記入無し17%				
利用者からの意見 要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木先生の書齋へ入室でき感動。資料も大変ありがたく拝見した。また訪れたい。 ・自分も真面目にやらなきゃなと思った。 ・大変親切な説明で、鈴木先生の物をみせてもらい有難かった。 ・植栽について、当時の様子がしのばれるようになればいいと思う。 ・「どの子ども育つ 育て方ひとつ」を実践された素晴らしい先生を知ることができてよかった。 ・チェロのコンサート開催を期待している。 ・ヴァイオリンを弾きたい。(楽器体験希望) ・大変為になった。”どの子ども育つ”という気持ちで職にあたりたい。 ・よく分かった。60年前に帰れた。 ・無料で観賞でき有難かった。昔、スズキ・メソッドで習っていたので、嬉しかった。 ・古くて、畳のにおいがよかった。 ・また、訪れたい。(スズキ・メソッド出身者) ・来てよかった。もっと多くの人に見てもらいたい。 ・一度見学したいと思っていた。来館して本当に良かった。鈴木先生の素晴らしい業績を称賛したい。 ・ここに訪れるといつも、気分がすっきりする。 ・久しぶりに来館し(6年前)、少し展示が変わっていたがとても雰囲気良かった。 ・業界問わず多くの日本人に知って、足を運んでもらいたい。 							